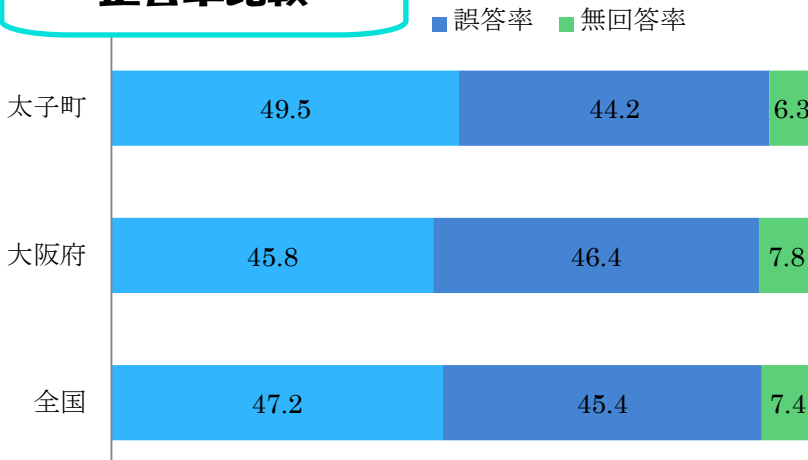


平成 28 年度 全国学力・学習状況調査

算数 B

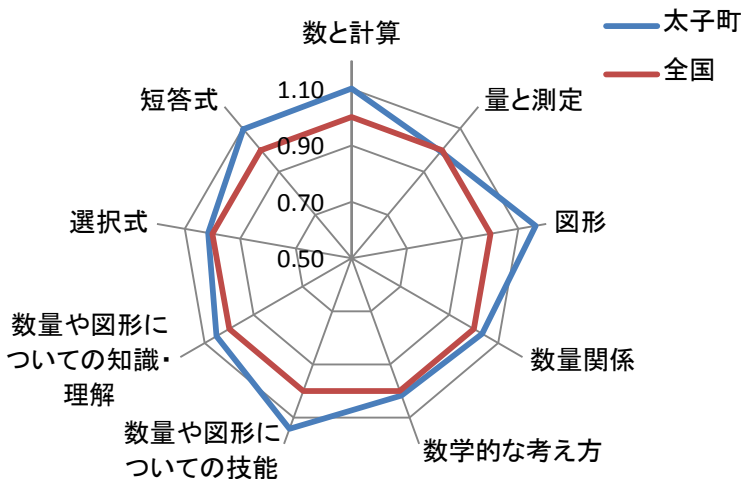
正答率比較



全国の平均正答率が、47.2%であるのに対し、太子町の平均正答率は49.5%であり、2.3ポイント上回った。

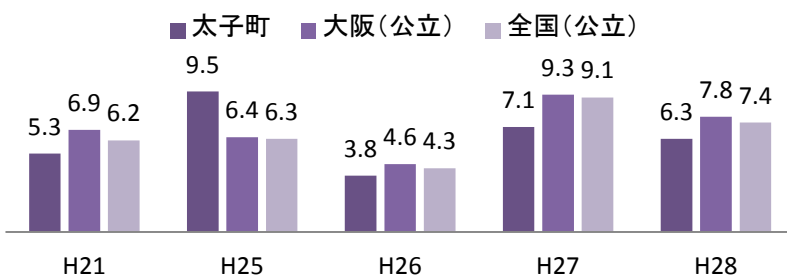


全国平均正答率を「1」としたときの大阪府・太子町の平均正答率と



全体的に全国平均を大きく上回り、これまでの取組みの成果が見える。特に図形に関しては全国平均を大きく上回っている。

無解答率



無解答率は経年比較すると、昨年度より全国的に減少している。平成28年度は、全国平均よりも-1.1ポイントとなっている。



成果と課題

昨年度は「記述式」において正答率は低かったが、今年度は「短答式」での正答率の高さが大きく伸びた。図形に関する問題では全国平均を大きく上回り、普段の授業の取組みの成果が表れている。また学校生活で実際に行われているハードル走に関する立式問題では正答率が全国平均を大きく上回り、より生活に根ざした算数の活用が日頃から行われていることがうかがえる。

無解答率を今後も減少できるような取組みを行い、全体的なレベルアップにつなげたい。